

1) 今日のテーマ「授業中の給水」

おはようございます。今日は、3学年揃っての1学期終業式です。昨年度の1学期終業式はオンラインで行いました。本校では、これまで数年間は、熱中症対策・感染症対策のために、1学期終業式と2学期始業式は教室で行っていました。本校では数年ぶりとなる、体育館での夏の終業式だと聞いています。みなさん、体育館に入る前に水分補給はしていますか？今日は、授業中に水を飲むことについて、皆さんにも考えてもらいたいと思います。

2) 授業中の給水は原則禁止とする理由

さて、去年の冬ぐらまで、本校では授業中に水分をとってもいいことにしていました。しかし私は、昨年度の3学期ぐらから、授業中の水分補給はやめましょう、と決め、先生方にもお知らせしています。その理由は大きく三つあります。

- ①授業の場で話を聞いたり話をしたりするときは、集中するべきであり、飲み物を飲みながら授業に取り組むのは、マナーとしてふさわしくない。
- ②エアコンなどの熱中症対策・感染症対策も進んだので、休み時間に水分を取ればいい。
- ③授業中に飲み物をこぼしたり吹き出したりすることで、教科書やプリント、スマホ端末をぬらしてしまうおそれがある。

この三つが理由です。

1番目の「マナーだから」という点は、納得できない人もいるかもしれません。マナーは、時代や文化によって変わっていくものだと私は考えます。みなさんはおそらく、幼稚園・保育園の頃から、水筒をもって外出するのが当たり前の文化の中で育ってきたと思いますし、小中学校でも、授業中の水分補給は禁止されていなかった、という人もいるでしょう。

2番目の「熱中症対策」という点については、「授業中に水分補給ができなくて、熱中症になったらどうするんだ」という意見があるでしょう。現にそう考える大人もいます。授業は基本的に50分です。休み時間に給水すれば、50分間は我慢できませんか？それでも熱中症になってしまうようであれば、授業を受けている場合ではありません。すぐに水分補給と保健室、救急車が必要な状況でしょう。クラスの大多数が熱中症になるようであれば学級閉鎖、臨時休校も考えなくてはなりません。

3番目の「教科書やパソコンをぬらす」という点は、わかりやすいのではないかと思います。同じ理由で、図書室やパソコン室も飲食禁止になっています。教室の人口密度や机の広さを考えると、自分のものだけでなく、友達の教科書やパソコンを汚してしまう可能性もあります。

以上の理由から、授業中の水分補給は原則禁止とします。

3) 例外があるのはトイレと同じ

でも、例外もあります。体育の授業では、先生から水分補給の指示があると思いま

す。また、2時間続きの実技の授業では、自分のペースで休み時間を取って水分補給を認めている先生もいるでしょう。各授業担当の先生の指示に従って、授業中の給水は行いましょう。

授業中のトイレと同じように考えてください。基本的にトイレは休み時間に行くものですが、どうしてもという時には、授業の先生に申し出ますよね。同じように考えると分かりやすいのではないかと思います。

4) 埼玉県桶川市の例

そんなふうに私は考えていたところ、6月の半ばに、ネットニュースで埼玉県桶川市の中学校の例が出ました。ある中学校が、校則で授業中の水分補給について「原則飲まないことをマナーとする」としました。これは後に「授業で教師が話している間は飲まない」としたそうですが、中学生はもちろん保護者や教育委員会、市議会、教育や医療の専門家も含めいろいろな意見が出ているそうです。

私は、その反響の大きさに驚きました。もしかしたら、私の考えも社会では受け入れられないのではないかと不安になりました。

5) みんなの意見を聞かせてほしい

では、当のみなさん、サクラの生徒はどう考えているのでしょうか？その意見を聞きたい、と書いていたところ、たまたま見に行った3年生の授業で、私に「なぜ授業中に水分補給をしてはいけないのか」と質問してくれた人がいました。先ほどのように説明しましたが、私は質問してくれたことに感謝し、うれしく思いました。

みなさんは、授業中の水分補給、どう考えるでしょうか？みなさんの意見を聞きたいと考えています。校長室に来てくれても結構です。

6) みんなの意見で学校生活をよくしよう

昨年度は、みなさんの意見をもとに、校則を一部変えました。みんなの意見で、サクラでの学校生活が変わりました。授業中の水分補給も含め、皆さん一人ひとりが、当事者として、自分ごととして、学校生活を見つめ直して、意見があれば声を上げてください。そして学校生活をよりよくしていきましょう。

7) 生徒会選挙に向けて

最後になりますが、今日はこの後、生徒会役員の補欠選挙があります。一人が声を上げることは大事ですが、なかなか勇気のいることです。生徒会のような組織を通じて一人の声を生かしていくこともできます。3年生の中には、先日の東京都知事選挙で初めて選挙に参加した人もいるでしょう。社会に参加する、社会とつながる、ということを、選挙を通じて考えてほしいと思います。

以上で私の話を終わります。